

スポークスマン

From 中華人民共和國駐大阪総領事館

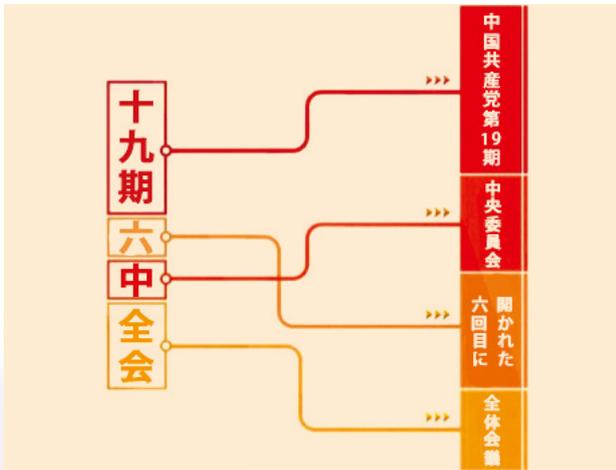


VOL.10 2021年12月

Spokesman From Consulate-General of The People's Republic of China in Osaka

らくらく完全攻略! ゼロから始める第19期6中全会特別号

入門編 六中全会って何?



▼『中国共産党規約』の関係規定によると、党の全国代表大会は普通5年に一回召集され、われわれは通常これを略して「〇〇大」と呼ぶ。

▼党の第〇回全国代表大会選挙により選ばれた中央委員会が、第〇期中央委員会で、われわれは通常これを「中央」あるいは「党中央」と呼ぶ。

例) 現在の中央委員会は第19回全国代表大会の選挙により組織されたため、「第19期中央委員会」と呼ばれる。

▼中央政治局は毎年少なくとも一回中央委員会全体会議を召集し、われわれは通常これを「全会」と呼ぶ。改革開放以来、歴代の中国共産党中央委員会は5年の任期の間に7回全会を召集するのが慣例となっている。

例)「一中全会」「二中全会」「三中全会」「四中全会」「五中全会」「六中全会」「七中全会」など。

中国共産党第19期中央委員会第6回全体会議とは、すなわち第19期中央委員会が召集した第6回全体会議のことである。

初心者編 第19期6中全会を「ちら見」



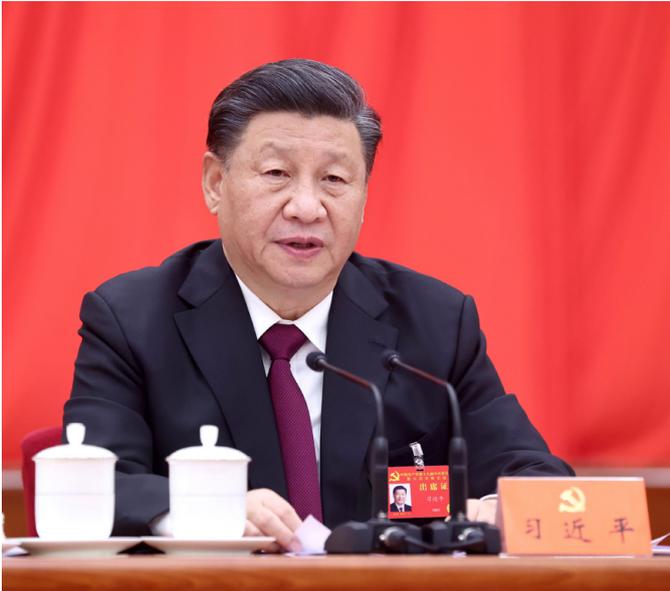
参加者:

中央委員197人、中央委員候補151人。
中央規律検査委員会常務委員会委員と関係方面の責任者が会議に列席する。第19回共産党大会の代表の中の一部の末端同志と専門家も会議に列席する。
全会は中央政治局が主宰する。習近平中央委員会総書記が重要演説を行う。

議題:

1. 中国共産党中央政治局が中央委員会に向けて活動報告を行う
2. 党の百年奮闘の重要な成果と歴史的経験の問題を重点的に研究し全面的に総括する
3. 『党の百年奮闘の重要な成果と歴史的経験に関する中共中央の決議』『第20回全国代表大会開催に関する党の決議』の審議
4. 習近平氏が『党の百年奮闘の重要な成果と歴史的経験に関する中共中央の決議(討論稿)』を全会に向けて説明する

中級者編 第19期6中全会をじっくり学ぶ



党の第19期6中全会の最も重要な成果は『党の百年奮闘の重要な成果と歴史的経験に関する中共中央の決議（以下「決議」と略）』の審議・採択である。

『決議』は合計3万6000字あるものの、**なるべく簡単に、幾つかの数字でこの『決議』の全体を把握してみよう。**

1. 『決議』は序文と結びを除くと**7**つの部分に分けることができる

- 第一部分：「新民主主義革命の偉大な勝利を勝ち取る」
- 第二部分：「社会主義革命の完成と社会主義建設の推進」
- 第三部分：「改革開放の進行と社会主義現代化建設」
- 第四部分：「中国の特色ある社会主義新時代を切り開く」
- 第五部分：「中国共産党の百年奮闘の歴史的意義」
- 第六部分：「中国共産党の百年奮闘の歴史的経験」
- 第七部分：「新時代の中国共産党」

2. 『決議』の内容に配された**2**つの特徴

一つ目の特徴は、主に党の百年奮闘という重要な成果と歴史的経験を総括していること。

二つ目の特徴は、中国の特色ある社会主義新時代という重点を際立たせていることで、比較的大きな紙幅を用いて第18回党大会以来のオリジナル性のある思想、変革的な実践、飛躍的な進展、象徴的な成果を総括している。

★スキャンして日本語版『決議』全文電子版をゲット！ 以下の解説も併せてみると、よく分かるよ！



★紙版『決議』の冊子を希望される方は、お名前、所属、役職、電話番号、希望冊数（最大5冊まで）、送付先を明記し、件名を『「決議」冊子希望』としたうえで、NewMedia_ChinaOsaka@hotmail.com宛にお送り下さい。当館の送料負担で郵送致します。

3. **1**つの際立った注目点

習近平「新時代の中国の特色ある社会主義」思想に対する総括と説明は、全会の『決議』の一つの際立った注目点で、重要な貢献でもある。

『決議』は、習近平同志は新時代の党と国家事業の発展の関係に対する一連の重要理論と実践問題に深い思考と科学的判断を下し、新時代においてどのような中国の特色ある社会主義をどのようにして堅持・発展させていくか、どのような社会主義現代化強国をどのようにして建設していくか、どのような長期にわたって執政するマルクス主義政党をどのように建設するかといった重要な時代の課題に、一連のオリジナル性のある国政運営の新理念・新思想・新戦略を提出し、習近平「新時代の中国の特色ある社会主義」思想の主要な創立者であると指摘した。

4. **1**つの重要な政治論断

『決議』では、党は習近平同志の党中央の核心、全党の核心という地位を確立し、習近平「新時代の中国の特色ある社会主義」思想の指導的地位を確立し、全党・全軍・全国各民族人民共通の願いを反映し、新時代の党と国家事業の発展に対し、中華民族の偉大な復興の歴史的過程に対し決定的な意義をもつと強調している。



プロ編 第19期6中全会をとことん調べる

上記のいくつかの数字で、あなたの『決議』に対する全体の印象が形づくられていると思う。以下のいくつかのキーワードにより、さらに『決議』の内容と中国共産党について理解を深めよう！

1. 4つの歴史的時期

『決議』の前の4つの部分では、党の百年の歴史を4つの時代に区分しており、各歴史的時期の党の任務と得た重要な成果、そしてその歴史的意義を深く説明している。

★新民主主義革命の時代：

主要な任務：帝国主義・封建主義・官僚資本主義に反対し、民族独立・人民解放を勝ち取り、中華民族の偉大な復興の実現のために根本となる社会条件をつくりあげる。



重大な成果と歴史的意義：中華人民共和国が成立し、民族

独立と人民解放が実現し、中国は数千年の封建専制政治から人民民主へと偉大な飛躍を実現した。中国共産党と中国人民は勇ましく粘り強い奮闘により、中国人民はこの時から立ち上がり、中華民族が侵略されるに任せた屈辱の時代は永遠に過去のものとなり、中国はこの時から新たな発展のスタートを切ったということを世界に向けて厳粛に宣言した。

★社会主義革命と建設の時代：

主要な任務：新民主主義から社会主義への転換を実現し、社会主義革命を進め、社会主義建設を推進し、中華民族の偉大な復興の実現のための根本的な政治前提と制度的基礎を打ち立てた。

重大な成果と歴史的意義：党は人民を導いて、経済的に立ち後れ、文化的に空白状態にあった、多くの人口を抱える東方の大国が、社会主義社会へ大

股に歩いていくという偉大な飛躍を実現させた。中国共産党と中国人民は勇ましく粘り強い奮闘により、中国人民は古い世界をぶち壊すだけでなく、新世界の建設にも長けていて、社会主義だけが中国を救うことができ、社会主義だけが中国を発展させることができるということを世界に向けて厳粛に宣言した。



★改革開放と社会主義現代化建設の新時代：

主要な任務：続けて中国は社会主義建設の正確な道を模索し、社会生産力を解放・発展させていき、人民を貧困から脱却させて迅速に豊かにし、中華民族の偉大な復興を実現させるために、新しい活力に満ちた体制的保証と迅速に発展する物質的条件を提供した。

重大な成果と歴史的意義：党は人民を指導し、中華民族が立ち上がり、豊かになるまでの偉大な飛躍を推進した。中国共産党と中国人民は勇ましく粘り強い奮闘により、改革開放は現代中国の前途と運命を決定するカギとなる方法であり、中国の特色ある社会主義の道は中国の発展・繁栄の正確な道導くもので、中国は大股な歩みで時代に追いついているということを世界に向けて厳粛に宣言したのだ。



★中国の特色ある社会主義新時代：



主要な任務：小康（ややゆとりのある）社会の全面的構築という一つ目の百年奮闘目標の実現は、社会主義現代化強国の全面的構築という二つ目の百年奮闘目標の新たな道のりの始まりであり、中華民族の偉大な復興の実現という偉大な目標に向け、続けて前進していく。

重大な成果と歴史的意義：党が人民を指導し、中華民族の偉大な復興の実現のためにより完全な制度的保証とより堅実な物質的基礎、より主動的な精神力を提供する。中国共産党と中国人民は勇ましく粘り強い奮闘により、中華民族が「立ち上がり、豊かになる」から、「強くなる」までの偉大な飛躍を遂げることを世界に向けて厳粛に宣言した。

2. マルクス主義の中国化の三回の飛躍

一回目の歴史的飛躍：毛沢東思想はマルクス・レーニン主義の中国における創造的運用と発展であり、中国革命と建設に関する正確な理論原則と経験の総括であることが実践により証明されている。

二回目の歴史的飛躍：党は真理の基準の問題についての大討論を指導・支持し、新しい実践と時代の特徴から出発し、マルクス主義を堅持・発展させ、中国の特色ある社会主義の発展の道、発展段階、基本的任務、発展の動力、発展戦略、政治的保証、祖国の統一、外交と国際戦略、指導力と依存する力などの一連の基本的な問題に科学的に回答し、**中国の特色ある社会主義理論体系**をつくりあげた。

三回目の歴史的飛躍：中国の特色ある社会主義新時代において、党は習近平「**新時代の中国の特色ある社会主義**」思想をつくりあげ、これは現代中国のマルクス主義、21世紀のマルクス主義であり、

中華文化と中国精神の時代の精華である。

3. 「10点の明確」

『決議』の第四部分において、第19回共産党大会の「8点の明確」を基礎とした「10点の明確」を用いて、習近平「新時代の中国の特色ある社会主義」思想の核心的内容に、さらに一歩進んだ概括を行っている。

——中国の特色ある社会主義の最も本質的な特徴は中国共産党の指導であり、中国の特色ある社会主義制度の最大の優位性は中国共産党の指導であることを明確化し、中国共産党は最高の政治指導力で、全党はかならず「四つの意識」（政治意識・大局意識・核心意識・一致意識）を増強し、「四つの自信」（中国の特色ある社会主義の道・理論・制度・文化への自信）を固く持ち、「二つの擁護」（習近平総書記の党中央・全党の核心としての地位を擁護し、党中央の権威と集中的・統一的指導を擁護すること）をやり抜く必要がある。

——中国の特色ある社会主義を堅持・発展させることを明確化し、総任務は社会主義現代化と中華民族の偉大な復興の実現で、全面的に小康社会をつくりあげるという基礎の上で、二つの段階に分けて、今世紀中葉までに富強・民主・文明・調和の美しい社会主義現代化強国をつくりあげ、中国式現代化の推進により中華民族の偉大な復興を推進する。

——新時代の中国の社会の主要な矛盾は人民の日増しに増大する素晴らしい生活への需要と、不均衡・不十分な発展との間の矛盾であることを明確化し、人民を中心とした発展思想を堅持し、全過程人民民主を発展させ、人の全面的発展と全人民の共同富裕のより顕著な実質的進展を遂げなければならない。

——中国の特色ある社会主義事業の総体的手配は、経済建設、政治建設、文化建設、社会建設、エコ文明建設の「五位一体」であり、戦略手配は、全面的な社会主義現代化国家の建設、全面的な改革の深化、全面的な法に基づく国家統治、全面的な厳しい党内統治という「四つの全面」であることを明確化する。

——改革の全面的深化の総目標は、中国の特色ある社会主義制度の整備・発展、国家のガバナンスシステム・ガバナンス能力の現代化推進であることを明確化する。



——法に基づく国家統治の全面的推進の総目標は、中国の特色ある社会主義法治システムの整備、社会主義法治国家の建設であることを明確化する。

——社会主義の基本的経済制度を堅持・整備すべきことを明確化し、市場に資源配置の中で決定的な役割をもたせ、よりよく政府の役割を發揮し、新しい発展段階を捉え、革新・協調・エコ・開放・共有という新発展理念を徹底的に実行し、国内大循環を主体とし、国内・国際二重循環が相互に促進する新発展構造の構築を急ぎ、高品質の発展を推進し、発展と安全を統一的に計画する。

——党の新時代における強軍目標は、党の指揮

に従い、戦闘に勝利でき、優れた気風をもつ人民軍隊の建設であり、人民軍隊を世界一流の軍隊とすることであると明確化する。

——中国の特色ある大国外交は、民族復興に奉仕し、人類の進歩を促進し、新型国際関係の構築を推進し、人類運命共同体の構築を推進しなければならないことを明確化する。

——全面的な党の厳格な管理の戦略方針を明確化し、新時代の党づくりの総要求を提出し、全面的に党の政治体制・思想・組織・気風・規律づくりを推進し、その中で制度づくりを貫通させ、反腐敗闘争を深く推し進め、党管理・党統治の責任を実行し、偉

中国キーワード・中国共産党創立百周年特別編 その4

中国の特色ある大国外交

2014年11月28日、習近平氏は中央外事工作会议における演説で、「中国には自らの特色をもつ大国外交が必ず必要である」と指摘した。2016年3月5日、第12期全国人民代表大会第4回会議で「中国の特色ある大国外交の理念」が初めて政府活動報告の中に明確に書き入れられた。

中国の特色ある大国外交の理念は時と共に絶えず発展する中国の特色ある大国外交の新戦略である。その政策主張は多国間主義で、政策の枠組みは新型国際パートナーシップの構築、「一帯一路」国際協力提唱の促進、人類運命共同体の価値観構築の推進などからなる。

中国の特色ある大国外交では中国は続けて平和・発展・協力・ウインウインの旗のぼりを高く掲げ、国内と国際の二つの大局、発展と安全という二つの重大な事柄を統一的に計画し、平和的発展、民族復興の促進という大筋をしっかりと捉え、国家主権・安全・発展利益を維持し、二つ目の百年奮闘目標と、中華民族の偉大な復興という中国の夢を実現させるために有力な保障を提供する。第19回党大会の報告のなかで、「新型国際関係を建設・推進する」と「人類運命共同体を建設・推進する」を一緒に並べ



て提起して、さらに新型国際関係の内容に対し、「相互尊重・公平正義・協力ウインウイン」という明確な境界を定めた。

「世界がよくなって初めて中国もよくなる。中国がよければ、世界はもっとよくなる」。百年来の大変動にコロナ情勢が加わった特殊な試練に対し、中国は各種の雑多な現象の中から本質を見極め、歴史的な角度から法則を捉えることを主張している。感染症を前にして、中国は国際社会の団結・協力の時代的需要と中国の和合・共生の理念とを結び付け、国際関係の民主化という時代の要請と中国の特色ある協議民主とを結びつけ、協力ウインウインという時代の特徴と中国の発展途上国の立場とを結び付け、中国の特色を際立たせていく。



大な自己革命により偉大な社会革命をリードする。

4. 5つの歴史的意義

- ・根本から中国人民の先行きと運命を変えた
- ・中華民族の偉大な復興を実現する正確な道を切り開いた
- ・マルクス主義の強大な生命力を見せた
- ・世界の歴史プロセスに深い影響を与えた
- ・時代の最先端を行く中国共産党をつくりあげた

『決議』の第五部分では、党の百年の奮闘の歩みと重要な成果を全面的に回顧・総括したうえで、より広い視野から、党の百年の奮闘の歴史的意義を総括し、中国人民、中華民族、マルクス主義、人類の進歩という事業、マルクス主義政党づくりに対する党の歴史的貢献について詳しく述べている。

5. 10の歴史的経験

『決議』の第六部分では、根源的で長期的な指導意義のある10の歴史的経験を総括している。

- ・党の指導の堅持
- ・人民至上の堅持
- ・理論革新の堅持
- ・独立自主の堅持
- ・中国の道の堅持
- ・世界を想う心の堅持
- ・開拓・イノベーションの堅持
- ・果敢に戦うことを堅持
- ・統一戦線を堅持
- ・自己革命の堅持

この10の歴史的経験は、長期的実践の積み重ねによる貴重な経験であり、党と人民が共に創造した精神の財産である。いっそう大切にし、長期にわたり堅持し、新時代の実践の中で絶えずそれを豊かにして発展させていく必要がある。

6. 1つの偉大な呼びかけ

『決議』の第7部分では、党中央は、全党・全軍・全国各民族人民はさらに緊密に習近平同志を核心とする党中央の周囲に団結し、習近平「新時代の中国の特色ある社会主義」思想を全面的・徹底的に行い、偉大なる建党精神を力いっぱい発揚し、昨日の苦難と栄光を忘れることなく、今日担っている使命に恥じることなく、明日の偉大な夢に負けず、歴史を鑑として未来を切り開き、わき目も振らず一生懸命に勇敢に前に進み、二つ目の百年奮闘目標の実現と中華民族の偉大な復興という中国の夢の実現のために、たゆまず奮闘しなければならないと呼びかけている。

